

平成30年8月例会 男体山(2,486m)・日光白根山(2,578m)

実施日 2018(平成30)年8月21日(火)～23日(木)

天候 晴れ

参加者 CL 佐藤 SL 森田 岡野 梶原

桑野^洋 小林^陽 小倉 近藤^剛 小林^宮 近藤^浩 井上 神山 藤川^豊 藤川^神 水畑 墨江 佐々木 高井 飯國

計19名(男7名 女12名)

行程 岡山から20日の夜行バスと21日朝の新幹線で出発 夜行バス組は2組に分かれて栃木駅周辺観光と東照宮観光へ。21日JR日光駅に全員集合(16:30)、5台レンタカーを借りて「いろは」坂を登り、民宿「すぎもと」着(17:20) 徒歩にて華厳の滝観光。

8月22日(水) 民宿出発(6:10)⇒二荒山神社登山口 開会行事・登山開始(6:30)→4合目石鳥居(7:50)→7合目避難小屋(9:40)→8合目瀧尾神社(10:20)→男体山頂上(昼食 11:40-12:30)→神社下山(16:10)⇒戦場ヶ原レストハウス⇒ジョイフルパシオン「ほしの」着(17:10)

8月23日(木)ジョイフルパシオン「ほしの」出発(7:00)⇒ロープウェイ(7:30)⇒山頂駅開会行事・登山開始(8:10)→白根山ルート樹林帯→ガレ場(10:00)→頂上休憩、軽食(10:40-11:30)→七色平・弥陀ヶ池分岐(12:40) 別動隊4名と別れ→七色平→山頂駅(13:15) ロープウェイ(13:20)⇒日光駅(15:10) レンタカー返却・解散。 夜行バス、新幹線等でそれぞれ岡山へ帰る。

概要 22日(水) 快晴の素晴らしい天気恵まれる。中禅寺湖の湖畔にある登山口の二荒山(ふたあらさん) 神社にて入山料を払い、登山の無事をお祈りして出発。鳥居をくぐると長い階段が続く。息が上がってくる。3合目から4合目は舗装道。4合目の石鳥居をくぐると登山道に入る。樹林帯では木漏れ日と涼やかな風が気持ち良かった。木々の間からの眺望が良く、中禅寺湖・周辺の山々・雲海の上に富士山がきれいに見える。高度を増すごとに広がっていく景色に感動。8合目くらいから樹木限界、岩場やガレ場が続き歩きにくい。頂上付近は階段もあり、登山道は整備され迷うことはない。標高差1,200mもあり時間はかかり、体力・気力も必要とした。初心者にはきつい山だと感じた。頂上は広く360度の眺望が素晴らしい山。 神社奥宮、二荒山大神の立派な銅像、鐘、御神剣の向こうに三角点があった。 2名体調不良にて9合目まで。



雲海の上に富士山



下山時休憩



23日(木)出かける前の天気予報では午後雨、少し心配したが幸運にも快晴。始発のロープウェイに乗って15分、景色がきれい。ロープウェイの下にはお花畑が見え、黄色いハンゴンソウとピンクのフジバカマがいっぱい。アサギマダラが飛んでいるのが見えた。標高2,000mの頂上駅には、展望台・高山植物の花壇・足湯もレストランもある。樹木帯を上っていくとカニコウモリの白い花が群生し迎えてくれる。多くはないが、かわいいハクサンフウロも。七色平分岐から白根山ルートに登った。1時間くらい樹林帯を登るといきなり視界が開け岩場の登山道。台風の影響でしっかり立っていないと吹き飛ばされそうな強風に悩まされた。ハクサンシクナゲの大きな木がいっぱい、花の時期には壮観だろう。頂上付近は眺望がとてもいいが険しい岩山。軽く昼食をとる。頂上からの下山道は急坂の岩場、一步足をふみはずすと転落してしまいそうな下り道だった。弥陀ヶ池を見ながら七色平北分岐から七色平を通って、元の登山道に戻った。連泊組4人は弥陀ヶ池で別れ自由行動となった。



山頂駅広場で準備体操



強風に耐え頂上に着く



二等三角点にて

(東京からの帰り夜行バス組は、台風の影響で交通規制があり、大渋滞のため、5時間遅れて岡山へ着く)
(新幹線組も大阪止まり等で、翌日になって岡山へ着く) (梶原 記)

(別動隊4人は弥陀ヶ池と湿地帯の花を楽しむが、風雨強くなり急ぎ下山し「ほしの」に連泊。翌日小雨の中、戦場ヶ原上部の湯滝・中央部の天望台・下部の竜頭滝を散策し、湖畔の英国・イタリア大使館別荘記念公園を見学、昼食後に解散。)

(小林 記)